

各 位

上場会社名 株式会社 シーズメン  
 代表者 代表取締役会長兼社長 梶島 正司  
 (コード番号 3083)  
 問合せ先責任者 経営管理部長 保住 光良  
 (TEL 03-5623-3781)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年4月2日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,530	30	20	5	6.33
今回修正予想(B)	3,204	△49	△55	△56	△71.20
増減額(B-A)	△326	△79	△75	△61	
増減率(%)	△9.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年2月期第2四半期)	3,425	△8	△14	△28	△36.58

平成28年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,980	80	60	20	25.33
今回修正予想(B)	6,730	80	60	20	25.33
増減額(B-A)	△250	—	—	—	
増減率(%)	△3.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	6,832	△6	△16	△93	△118.24

#### 修正の理由

当第2四半期累計期間におきまして、当社は、ボトムスの強化および服飾雑貨の拡充による売上高の拡大と、販売に連動した適時適量の商品投入による、売上総利益率の向上を図り、業績の改善を目指しました。

売上高につきましては、ボトムスで、ブランドデニムが好調に推移し、また、服飾雑貨では、バッグの売上を大きく伸ばすことができました。

しかしながら、シャツ、ショートパンツ、和柄商品などにおいて売れ筋商品が不足し、苦戦を強いられたこと等により、全社の売上高前年比は93.6%、既存店の売上高前年比は93.4%となり、計画を下回る結果となりました。

売上総利益率につきましては、前年を0.4ポイント上回る49.1%と改善をすることができましたが、売上高の減少により、売上総利益額は前年比94.1%となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は、前回予想を下回る見込みです。

今後の見通しにつきましては、冬物アウターの品揃え強化による売上増が見込まれ、また、引き続き売上総利益率の改善が図られること、および販管費の削減により、第3四半期・第4四半期の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を上回るものと見込んでおります。

その結果、通期の業績につきましては、売上高は前回予想を下回りますが、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想と同等となる見込みです。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上